

和地ひとみレポート

No.17

東大和市議会 平成23年度第3回定例会 和地ひとみ一般質問②
もっと意義のある『タウンミーティング』に。



■ 目的がわかりづらかったタウンミーティング

…9月6日から開催されている平成23年度市議会の第3回定例会。和地ひとみは2つの項目について一般質問をしました。

- ・7月に開催されたタウンミーティングについて
- ・市内駅前での安心安全の整備について

…6月議会で尾崎市長がおこなった所信表明の大きなポイントは「市民とともに歩む市政」。その取組のひとつとしてタウンミーティングの開催を掲げ、7月にはさっそく第1回が開催されました。初回ということもあり、試行錯誤の部分はあったと思いますが、4回中2回参加してみて感じた「告知期間と内容の準備不足感」と「目的の不明確さ」について、また、今後のタウンミーティングの方向性などを一般質問で確認しました。

…初回のタウンミーティングのテーマは「市の財政について」でしたが、市の財政状況を知ってほしいのか、市民の声を聞きたいのか、はっきりしない内容になっていました。そのことについては、市長からも「参加された市民の方の中には『なんだろう?』という思いでいた方もいたと思う」というコメントがあり、今後の改善の必要性については実感しているようです。

■ タウンミーティングの実施基準は設定したが

…まず、そもそものタウンミーティングの実施の目的について確認したところ「市長と市民とが市政運営に関して、率直な意見交換を行い、それをもって市民の市政に関する理解の促進と市民に開かれた市政運営の推進をはかること」という実施基準を設定しているとのこと。初回のテーマ「市財政」については、まずは知ってもらいたいと思っていたとの答弁がありましたが、知ってもらおうということをメインテーマに据えたのなら、あまりにも説明が簡素すぎる感がします。特に財政という難しいテーマの場合、専門用語も多く、イメージを持ちにくい内容なので、数字を並べた資料だけではなく、たとえば図に表す、家計に例えてみるなど、少し参加する市民の側に立って考えれば実現できた工夫はたくさんあります。ホームページに掲載されているタウンミーティングの報告も資料は掲載されているものの「説明については割愛する」とのコメントが。これでは市の財政状況を知ってほしいということが本当に目的だったのかわかりません。

■ 市民の声を多く聞きたいというのなら

…また、初回については新青梅街道の以北には会場はゼロでした。これについては出来るだけ早く開きたいということで会場は抑えられるところで設定したとのこと。また、4回の開催で延べ170名の参加があり盛況だったというコメントを受け、目標人数はあったのか確認すると50名入れる会場が4会場だったのでおおむね200名を目処にしていたとの回答。何をもちいて目標人数を設定し、どんな根拠で盛況というコメントが出るのか強く追及させていただきました。

…今回参加された方の中には、時間の限りなどで、コメントしたくてもできなかった方も多くいます。参加された方の意見をできるだけ多く拾いたいというのであれば、なぜ、アンケートを取らなかったのか不思議です。盛況というのは行政側の感覚でしかないのです。

…「市政を知ってもらおう」という目的も「意見を聞きたい」という目的も、開催すること自体が目的化してしまい、参加する市民側の気持ちを想像しての準備が不足したため、達成することができなかったのではないかと意見を言わせていただきました。

■ 市職員との温度差をなくし、意義ある会に

…タウンミーティングで出た意見の市庁舎内での扱いについては、各部署に意見を回覧し、公表するのに問題はないか確認をただけとのこと。企画財政課では市民にわかりやすい表現工夫が必要という話が出たようですが、今回の様々な意見をベースに新たな検討や動きはないそうです。市長やタウンミーティングを担当している企画財政課だけではなく全職員が同じ温度感でタウンミーティングに興味をもたなければ、会の意義は達成できないと思います。

…私はタウンミーティング自体には賛成ですが、行政の自己満足で終わってしまうようでは意味がないと思います。足を運ぶ市民の方も自分の時間を割いて参加するので、開催する側が明確な目的を持って開催してほしい。企業が人を集める時には常に目標の設定し参加される方のことを考えて準備をするものです。そのような感覚が行政にももっと必要で、今後は行政側から市民の集まる場所に向かうような工夫も必要です。最初から満点の会はありませんが、人を集めるということを簡単に考えず、より良い会にしていってほしいです。